

広報



かわち

平成 5 年 11 / 10 No.423

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
(FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 11月1日現在 —	
男	4,335 (+3)
女	4,413 (+7)
計	8,748 (+10)
世帯数	2,224 (-2)
() は前月比較	



ふるさとの旬を込めて

— 10月22日 地域活性化センター —

『ふれあいパック』は、町の自然味あふれる特産品を会員にお届けすることを第1に、体験農園や雪上レクリエーションなどを通じて心の交流を図っています。このパックの秋便の特産品発送作業が町・農協の職員によって進められました。

今回届けられた品物はコシヒカリ、食用菊、ナメコ、シメジ、ニンジン、芋の煮ころがし、梅の甘酢漬け、漬け物セットなど10品です。



休日救急医

11月14日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
21日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
23日	至誠堂医院(西浦町)	☎ 52-3276
28日	富田医院(神明町)	☎ 52-3269
12月5日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
12日	池田医院(本町西)	☎ 52-2581

すこやかライフ



仙田小学校では、例年おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に田植えや稲刈りの作業を実施しています(9・22)

今年は、かつてない冷夏や台風の襲来など、お米をはじめ農作物への影響が深刻で、農家の皆さんは大変苦労があつたのではないのでしょうか。

中魚沼米消費拡大推進連絡会(中魚沼郡市の市町村・農協・中魚沼農業改良普及所・農協中央会で組織)では、昭和六十三年から米消費拡大と日本型食生活の推進に向けた取り組みを実施してきました。

生産過剰と言われていたお米が、今年は異常気象のために全国的に不作で大変貴重なものとなっています。今回は、そんなお米にまつわるエピソードやお米の变身などを取り上げてみました。



ボクたちは米で作った作品です。 さて、何でしょうか？

⑥ プクー

うるち米(3合)をごはんに炊き、蒸したもち米(7合)をよく混ぜて、餅と同じようにつき、ちぎってあんこをまぶした物なあに？お祝いごとに食べます。

④

笹の葉にもち米をつめて、水から2時間煮ると出来上がる物なあに？ヒントは三角！

①

蒸したお米に“〇〇菌”をまぶしてもみ、室の中で2泊3日すると出来上がるものなあに？途中でちょっともんであげること。みりん、お酒、みそ、酢などのもとになります。

②

寒い冬に糍と塩とごはんを混ぜてねかして作ります。これがあると夏場の漬物作りに大助かり！

⑦

米粉とよもぎを混ぜてお団子にし、中にあんこを入れて俵のように笹で包んである物なあに？

⑤

和菓子の材料にする粉ですが、うるち米ともち米どちらを粉にしたものなのでしょうか？
ア. みじん粉(らくがんなど)
イ. 上新粉(柏もち、すあまなど)
ウ. 白玉粉(白玉だんご、求肥など)
エ. 道明寺粉(桜もちなど)

③

おかゆに炊いて少し冷ましたもち米と、糍を混ぜて保温すると甘い飲み物になりました。電子ジャーで約8時間がヒントだよ。

生みの親はみんなコメ

米の加工品には大別して次のものがあります。

- コメのままのもの
アルファ化米、ライスフレーク、おこし、きりたんぽなど
- 粉にしたもの
桜もち、柏もち、大福もち、ぎゅうひ、ライスパン、団子など
- めんにしたもの
ビーフン、ライスめんなど
- 醸造したもの
米みそ、米酢、みりん、清酒、ワインなど
- その他
もち、せんべい、ライスクラッカーなどのスナック菓子類

技術が進歩した最近では、冷凍飯やおこわ、ピラフ、白飯、雑炊、離乳食・病人食用のおかゆなどのレトルト食品がたくさん出まわり、かんたんに米食ができるようになっていきます。

* 答えは左ページ下

ごはんで乾杯!!

お米は

栄養豊富な食品

お米には、私たちが仕事や運動をするエネルギーのもとになる糖質（炭水化物）がたくさん含まれています。また、植物性のタンパク質・油、カルシウム、カリウム、ビタミンB₁・B₂、それに最近注目されている植物繊維も含まれ、栄養豊富な食品の一つです。そして、ごはんは胃腸の中で時間をかけて分解されていきますから腹もちが良く、体にもなじみやすくなっています。肉食中心となりつつある現在、動脈硬化やガン、心臓病といった成人病が増え、日本食が見直されてきています。お米を中心とした食事は、魚、野菜が多く登場し、日本食中心となります。ぜひ、私たちの主食である「お米」を見直しましょう。



月に一度はお弁当の日があります。
みんなごはん大好き（幼稚園・10・28）

米とふるさと

厚木市 川崎保一さん
（越ヶ沢出身）



東北地方の冷害などが盛んに報道されている中、当地神奈川は作況九十八とか。昨日、近くの田んぼを見に行ったところ、

被害なんか分からないほど、黄色の穂をたれていました。

戦後の混乱期、米は一表（60キロ入り）十八円が相場でした。これが、ヤミでなんと八百円。

当時の百円は、今の一万円よりも価値がありました。

現在、タイ国産米10キロ五百円、日本産コシヒカリ10キロ六千円。あまりの違いに戸惑いを感じています。

越ヶ沢で農業をしていたのをやめ、都会でサラリーマンをして働いてきた私です。

今、夢のような過去を思い出しながら、ふるさとを懐かしんでいる今日このごろです。

仙田小学校創立二十周年

記念式典をして発展を期す

十月二十四日、仙田小学校（大島一校長・児童四十八人）が創立二十周年を迎え、関係者およそ百五十人が参列して記念式典を挙げる。節目を祝って、今後一層の発展を願いました。

として発足。三百八十一人の卒業生を送り出しています。

記念式典では、金子澄男実行委員長が式辞を述べ、南雲町長、小林議会議員、金子教育委員長、松岡郡市教育振興会長が祝辞を述べたあと、児童全員による呼びかけが行われ、記念事業の報告、校長先生のあいさつ、児童

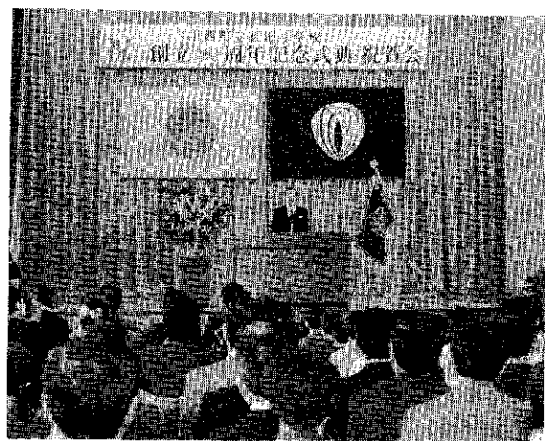
全員の合唱など、一つの物語風に紹介されていきました。

大島校長は、「発足から十年は教育の基礎づくり・校風づくりを、あと十年は仙田小学校の充実と伝統を築いていただいた」と労をたたえ、「全校児童に二十年という歴史と伝統の意義を知らせ、今後の発展を期させるよい機会としたい。そして、地域の皆様の期待にこたえるべく教職員一同英知を結集し、ますます仙田の教育に努力したい。」と決意を述べていました。

児童全員による呼びかけ



校長先生のあいさつ



柳さん(山野田)が

県技術賞を受賞

卓越した技能を有し、その技能に関する工夫と改善によって、労働者などの福祉の増進と産業の発展に寄与した方に贈られる「新潟県技術賞」に、当町山野田の柳雄一さん(45歳)が受賞することが決まり、十一月三日、県庁でその伝達式がありました。

暖房余熱を利用した柳式融雪屋根の開発をはじめ、スーパールーフα302と商品名のついた、雪止め付き屋根葺き鋼板と生活排気熱を効率良く流す通気パネルを一体化した融雪屋根部



新商品の雪止め鋼板と通気パネルで説明してくださる柳さん

材の開発など、新屋根融雪システムの開発が認められたもので、町では初めての受賞です。

克雪住宅建築に第一人の貢献をしている柳さんも、融雪屋根を発表した昭和五十四年当時は、画期的な工法であったため理解されず、やっと施工しても、活用方法が間違っていたり、他人の悪評もあったりして、大変なご苦労がありました。しかし、柳さんの「いつか理解される」という強い信念が実を結び、研究から十五年たった今日、受賞が年七十棟をくだらない実績を持つまでになりました。また、スーパールーフα302という新商品開発にも成功しました。

柳さんは、この新商品を開発するにあたって、おろし金ヒントになって雪止めの、また、パンにバターをぬっていたとき、その容器から雪止めの形を思いつくなど、開発の裏話をしてくれました。また、「特許商品を生かし、地元でより安い良製品を提供することに力を注ぎたい」という意気込みも話してくれました。

十月三日、総合センターで第三回健康づくりフェアが開催されました。

まず式典では、保健衛生功労者、五十回以上の献血功労者、三十回以上の献血功労者、一年間家族全員が一度も医療機関を

使わなかった世帯の表彰がありました。

次に、上村広治さん(上野・70歳)と北村栄作さん(中央町・76歳)が実践発表。上村さんは、歯を大切にした健康づくりを、北村さんは、ウォーキング

を通した健康づくりについて、それぞれ発表しました。ちなみに、上村さんは、今年の県高齢者良い歯コンクールで優秀賞に輝いています。

記念講演では、中山康夫中条病院長による「がんは恐ろしいか」と題した講演がありました。講演の中で中山先生は、「マスコミが『がん』の報道を騒ぎ過ぎる。『がん』にもいろいろ種類もあるし、毎年受診して、早期に見つけられれば怖いものではなく、対策も講じられる。とにかく川西町においても受診率が低いので、大勢の方ががん検診をすることを進めたい」と語っていました。

また、廃油石けんの配布、自動血圧計による血圧測定、牛乳を使った料理の試食、町の保健状況をまとめたパネル展示などのコーナーも設けられました。

表彰された方々

(敬称略)

●保健衛生功労者

小林 カツ(元 町)

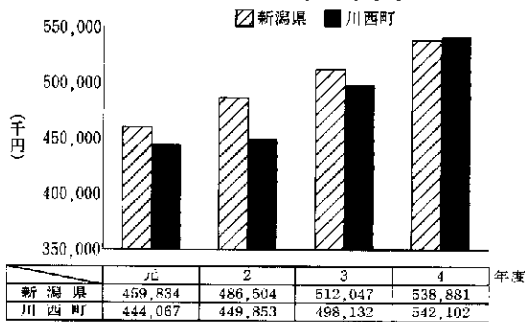
●献血功労者

50回宮 正朗(山野田)
〃 高橋 藤作(中屋敷)
〃 五十川 清(沖立)

およそ百人が参加して、健康づくりについて認識しあっていました



老人1人当りの医療費



70歳以上の方や、65歳以上で寝たきりなどのお年寄り（申請が必要）の方は、老人保健法による医療が受けられます。

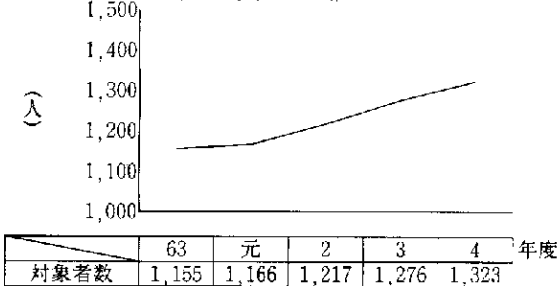
別表に示したように、老人医療費は毎年増え続けています。また、町の人口は減り続け、老人数は上昇しています。

医療費は、みんなの税金や保険料などによってまかなわれていますので、健康に注意して大切に使いましょう。

大切に！ 増えている老人医療費

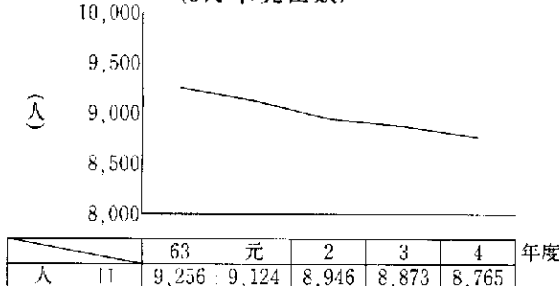
老人医療受給者数

(3月末現在数)



川西町の人口

(3月末現在数)



申請書に添える書類（用紙は、各保育園、役場社会福祉係にあります）

- 勤めている人の家庭は、事業主発行の勤務証明書
- 内職をしている家庭は、事業主発行の内職証明書
- 自営業や農業に従事している家庭は、自営業・農業従事者確認申請書
- 病人のいる家庭は、医師の診断書

平成六年度 保育園児

川西町 50回川崎秀雄（栄町）
 山崎千代子（中屋敷）
 松本好仁（尾田）
 佐藤喜尊（尾田）
 白井義清（中町）
 市川豊秀（赤谷）
 登坂雅幸（赤谷）
 五十川雅幸（赤谷）
 高橋直人（赤谷）
 丸山新吾（赤谷）
 太田茂治（赤谷）
 五十川弘夫（栄町）
 櫃間精一（伊友）
 星名邦夫（伊友）
 川崎栄吉（栄町）
 青木久三（赤谷）

注意していただきたい事項

- 心身の障害などで団体生活ができない児童は、入園できないことがあります。
- 家庭内に入園希望者が二人以上いるときは、各児童ごとに申請してください。
- 家庭状況をお尋ねします。申請書は、直接、家族の方が持

断書

入園申請受付
11月12日～26日

健康家族

30回川崎秀雄（栄町）
 山崎千代子（中屋敷）
 松本好仁（尾田）
 佐藤喜尊（尾田）
 白井義清（中町）
 市川豊秀（赤谷）
 登坂雅幸（赤谷）
 五十川雅幸（赤谷）
 高橋直人（赤谷）
 丸山新吾（赤谷）
 太田茂治（赤谷）
 五十川弘夫（栄町）
 櫃間精一（伊友）
 星名邦夫（伊友）
 川崎栄吉（栄町）
 青木久三（赤谷）

募集人員と申請書提出場所

保育園	募集人員	入園区域	申請書提出場所
千手	80	千手	役場窓口 各保育所
南原	45	南原	
上野	60	上野	
橋	80	橋	
仙田	45	仙田	

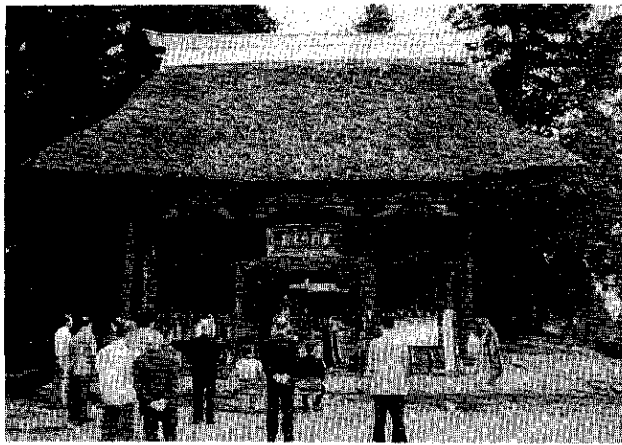
問い合わせ先
役場社会福祉係

参してください。
現在、入園中で引き続き入園を希望する児童も、申請してください。

50回以上の献血功労者表彰
十人が表彰されました。



町の話題あれこれ



およそ250年の歳月を耐え続けてきた仁王門

千手観音仁王門を 2年がかりで大改修

千手観音仁王門（安置されてある仁王像とも、昭和54年6月町文化財に指定・寛延二年（一七四九）建立・出雲崎の木工の手によって造られている）は、屋根などの老朽が進んだことから、二年がかりで大改修することが決まりました。

十月三日、現地でその起工式が実施され、関係者二十人ほどが出席して工事の安全と完工を祈願しました。

計画では、総事業費およそ二千万円をかけ解体・修理が行われ、平成七年三月に完成の予定となっています。

世界の名車などが ナカゴに勢ぞろい

十月二日、ナカゴグリーンパークに、世界のヒストリックカー（特別な歴史を持つ車）をはじめ、昭和五十年代の国産車およそ五十台が勢ぞろいし、大勢の車マニアでにぎわいました。

これは、カーツーリングで自由を楽しみながら新潟を知ってもらいたい、と県観光協会が主催している新潟クレストという事業の一環で実施されたヒストリックカーのルートで、ナカゴグリーンパークがチェックポイント地点に選ばれたもの。

会場に入ってくる名車に歓声をあげる者、手を振る者など、思い思いに歓迎をしていました。



名車などをひと目見ようと、会場には多くの人が集まりました。

地域住民が楽しく一日を過ごす

十月十日、千手小学校グラウンドで、千手地区レクリエーション大会（千手地区体育振興会（星名正一会長）主催）が開催されました。

この大会は、今までは地区運動会という形で実施していたものを、去年からレクリエーション種目主体の大会に切り替えたもので今年で二回目。地区を七ブロックに編成、七種目に得点を競いました。

団結力、作戦の出来・不出来など、一つひとつの種目においても一喜一憂。地区住民の老若男女が一堂に会して交流を深めたことはもちろん、会場は朝からにぎやかな歓声がいっぱい響いていました。



いろいろな種目で老若男女が心地よい汗を流した一日でした

川西モトクロス場から生中継

十月十一日、BSN（新潟放送）で、信越放送・テレビ山梨・静岡放送四局共同制作による「やるき満々スーパーステージ 知力体力歌唱力 これぞ勝負だ！」が放送されました。

番組は、静岡放送がキー局になって四県での催しを中継で結ぶというもので、新潟県からは川西モトクロス場で実施した、新潟・長野・山梨・静岡の各県の大学生による『人間ばんば大会』が生放送されました。

この大会では、南雲町長がスタートの合図をし、集まった観客はコシヒカリおにぎりを持って応援。川西町をすっかりPRしていました。



新潟大学ほか3大学の学生が、自県の名産をかけて闘いました

新しい発見……川西八景めぐり

「自分の住んでいる町の景観を、一日ゆっくり見てみませんか。新しい発見があるかもしれませんよ」と、参加者を募集していた『川西八景めぐり』に三十人ほどの申し込みがあり、十月十七日と二十八日の二日に分けて、川西八景めぐりを実施しました。参加者は女性の方が多く、何十年町に住んでいても、一度も行ったことのない場所などは、とても興味があつたようです。また、自然景観でなく、時を刻んだ歴史があるものは、それにまつわる話を聞くのも楽しみであり、講師の話に相づちを打ったり、感心をしたりして、一生懸命聞き入っていました。



講師の説明に熱心に聞き入る参加者
(赤谷大ケヤキ)

文化講演会で子育て論を語る



講師の小沢さん

論」と題して、町文化講演会が開かれました。

講演は、小沢さん自身がやってこられた子育てを通じて、「自分の観念で子供を判断することをやめよう、細かい価値感で判断することはやめよう、基本的の人間としての生き方を教えよう」と子育て論を語り、また、「一人として社会に出ていかなければならないことを現代は教えていない」とも問いかけ、「子育ては自分を育て、周りをも育てるもの。元気で楽しく子育てをして、大人に育てていってほしい」と結んでいました。

親子で楽しんだ 紙飛行機大会



児童・生徒は型を切って紙飛行機を作りました

十月三十一日、総合体育館で第二回親子紙飛行機大会が開かれました。この催しには、幼児や児童・生徒、父兄の方々およそ五十人が参加しました。幼児は紙で折った飛行機で、児童・生徒は紙を切り抜いて作った飛行機で、それぞれ飛距離を競いました。父兄の方も子供たちに負けないくらい真剣で、できあがると親子一緒に試して飛行を何度も繰り返していました。しかし、今までよく飛んでいた飛行機も、本番になるとうまく飛んでくれません。現実はとても皮肉なものです。

十月二十九日、総合センターで「子供の未来を考えるフォーラム」が開催されました。これは、県が進めている子供未来支援事業の一環として開かれたもので今年で三回目。県内三か所の一会場に町が選ばれ、当日は、近隣二市三郡からおよそ二百人が参加しました。

まず、地域ぐるみの子育て、子育てと地域の役割などについて四人が意見発表。町からは南雲悦子さん(中屋敷)と平野八重子さん(四郎兼)が発表しました。また、山口律子さん(新津市在住)から「おかあさんの愛」と題した講演をいただきました。

地域ぐるみで 子育てを考える



四人のお母さん方が、意見を発表しました

ひるひる
子育ての未来

税を知る週間

11月11日～17日

税は、警察や消防などの公共サービス、道路や公園などの公共施設の整備をするための大切な財源となっています。

このような大切な「税」を正しく理解していただくために、国税庁では、11月11日から17日までを「税を知る週間」として、暮らしと税とのかかわり合いなどについて理解いただけるよう、各種の行事を実施しています。

この週間行事のひとつとして、全国の中学生を対象に標語を募集しました。十日町税務署管内では、郡市内から一、一九二点の応募があり、川西中学校からは二五五点の応募がありました。また、十日町納税貯蓄組合連合会では、税についての作文を



去年の表彰伝達式
(4・11・16)

募集。郡市内から二二二点の応募があり、川西中学校からは、七七点(三年生のみ)応募。標語・作文について、入選の作品を紹介します。(敬称略)

なお、作文の入選作品を、本紙十二月号から順次紹介します。

【標語】

関東信越国税局長賞佳作

いつの日か我が身に返る今日の税
三年 中村 直人

新潟県租税教育推進協議会長賞

すてきだねくらしの中に光る税
二年 星名 恵

十日町税務署長賞優秀作

税金でひらこう明るい未来と夢を
二年 野上 康代

町租税教育推進懇談会

〈入選〉

納税で愛の福祉や豊かな老後

健康やくらしを守る皆の税
三年 星名 力成

二年 川崎 愛
よい社会住みよい町を税金で

二年 数藤 杏子
税金で明るい未来の町づくり

二年 小幡 佑佳
税金で心豊かな町おこし

一年 南雲 貢

〈佳作〉

三年 水落正 高橋浩樹

二年 清水富之 川崎康平

南雲洋平 蔵品歩 渡辺洋平

高橋紀子 佐藤瞳 星名冴子

井上吉典 小川朋美 大嶋隼平

清水瞳

一年 栖沢夏紀 高橋三代子

能代谷光生 相崎泰行 斎藤保

齋木麻友美

【作文】

十日町税務署長賞

「僕たちが納税者としての税」
三年 相崎 貢

町租税教育推進懇談会

〈入選〉

「国民の願い星 輝く未来のために」
三年 星名 力成

「税金の大切さを知れば……」
三年 佐藤奈美子

「税金とは」
三年 柳 祐子

〈佳作〉

三年 南雲敏之 久保田和美
清水朝江 春日景子 星名康宏

20歳を迎えた

渋海川つり大会

十月三日、町商工会仙田支部(佐藤新一郎支部長)主催による渋海川つり大会が開かれ、およそ六十人の太公望が腕前を競いました。

この催しは、昭和四十九年六月に第一回大会が開催されて以来、今年で二十回を迎えました。地域の人たちはもとより、町内外からの参加者も多く、つりの腕前を競う大会の一つとして定着しています。

今回、同支部では、二十回を記念して、「清流渋海川つり大会二十年のあゆみ」と題した記念誌を刊行と抽選会を実施。

仙田地区における観光事業の一つに、渋海川を利用した事業や施策が求められているいま、この大会が一層発展するよう期待が込められています。

つり大会入賞者は次のとおりです。(敬称略)

大漁の部

1位 小宮山 昇(十日町市)

2位 高橋 秀規(赤谷)

大物の部

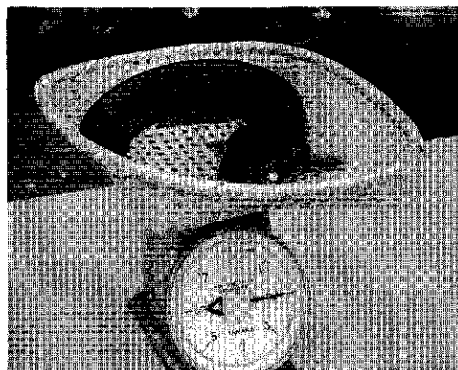
1位 富井 正雄(上野)

2位 樋口 英治(十日町市)

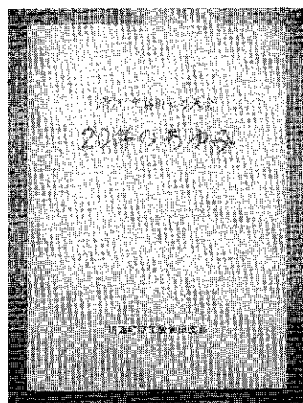
特漁の部

1位 小林 健治(中仙田)

2位 庭野 哲(赤谷)



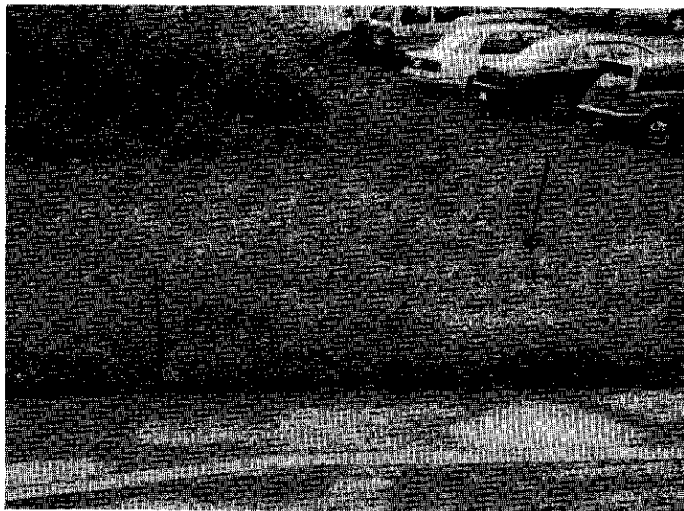
今回つりあげられた一九五〇グラムのナマズ



放鳥した町の鳥 「きじ」が戻った!

下平新田 相崎甚平さん

相崎さん宅近くで遊ぶ幼鳥



今春、綺麗な一つがいのキジがわが家の前の草原に毎日来てはえさを探して歩き回っており、時には朝早くから「ケーン、ケーン」とかん高い声で鳴く。これで目覚めてわが家の朝が始まる。二羽で仲良く並んで遊ぶ姿を見ると、ああ、良かったね。今日も来てくれたと安心。

このような日がしばらく続き、いつしか冷夏でも夏の季節となったところから、キジの姿が見られなくなった。今日は来るか、明日はどうかと毎日待っていたが、以来、全然姿を見せなくなった。私たちも、いつしかキジのことを忘れていった。

ところが、先日のお天気の良

いお昼近くになって、以前遊んでいた草原の所に、茶色の幼鳥が草の間からときどき頭を持ち上げながらえさを探し回っている。二羽三羽、いや、あつちにもこつちにも次々と現われる。合計八羽だ。親鳥は見えないものの仲良く遊んでいる。どこで成長したのやら……、ともあれ、親鳥が遊んだ場所に帰って来たのだ。「ああ、良く来てくれた、良く来てくれた」と、家内と孫とで見ている。

そのうちに慣れたのか舗装道路を横切り、わが家の前の畑の中に入り、日なたぼっこをしている。途中でいなくなっただけども、夕方また戻って来て三十

分くらい遊び、草の茂みの中に入ってしまった。

今日はどうか今日はどうかと、毎日居間の窓際から見下ろして待っている。雨模様为天候のせいか、二三日は来なかったが、秋日和の暖かい日には十時ころ来てしばらく遊んでいく。道路を通る車に驚いて飛び立ったら、三十分くらい先まで飛んだ。ああ、これなら冬も越せるなど一安心。

町で放鳥したキジがこうして身近に里帰りをしてくれた。この喜びをうれしく感じている私たちです。そして、無事に育って、子を孫を川西町に残してくれることを祈りつつ。



1位で表彰を受けた丸山君(左から2番目)

少年少女オリンピックで 丸山君(橘小六年)が優勝

十月十日、長岡市宮陸上競技場で、第十八回少年少女親善オリンピック長岡大会が開催されました。大会には県内の百十四校からおおよそ千二百人の小・中学生が参加。三十種目の競技に日ごろの練習の成果を競い合いました。

町から出場した選手の中で、丸山健士君(木落)が六年十五百円でみごと優勝を飾りました。

新米・青二才

言葉の履歴書

「新米のくせに生意気な……」などというときの「新米」は、新しく仲間入りしたばかりで、まだ仕事に慣れていない者のことをさしています。

これは、新入りの未熟者を意味する「新削」と発音が近いところから、転じて「新米」と書かれるようになったもの。本来の新米といえは、毎年十月ころに出回る「今年米」

のことです。

新米の収穫を祝うのが秋祭り。十一月二十三日は、国民の祝日「勤労感謝の日」となる前は天皇が初穂を神に捧げ、親しく新米を食される「新嘗祭」でした。

「新米」に似た表現に、「青二才」があります。「青」は若くて未熟の意。「二才」は、若者を意味する「新背」が変化したという説、ボラなどの稚魚を二サイと呼ぶのになとえたとする説などがあります。いずれにしても、語源は「新米」ほど定かではありません。

仙田村の学校問題 ⑬

岩瀬 金子 幸 作

一村三校を提案

昭和十二年六月二十一日、仙

田村長職務掌の松永敬三郎は六月定例会を招集し、学校問題を解決するにはこれしかないとの三点を提示する。

①白倉校と仙田校に高等科を併置する。

②中仙田校と赤岩校を廃止し中仙田校から九町、赤岩校から十九町離れた赤谷地内童子ヶ島に、高等科を併置した学校を新築して村内三小学校とする。

③新設校の校舎を中部校とし仙田校(室島)を南部校に、白

倉校を北部校に改称する。

声涙ぐだる演説

高橋家文書(赤谷茶屋)によると、六月定例会の冒頭で松永は明治維新の大業が成った歴史から説をおこし、仙田村の学校問題解決に職を辱して当たる決意を披れきしながら、声涙ともにくだる名調子で提案理由を次のように説明する。

仙田村ノ学校問題ニ対スル小職ノ見解ヲ披露スレバ、中仙田ト赤岩ノ両校ハ之ヲ統合スルヲ相当ト考ヘル。ソノ理由ハ、学校ノ理想統一ヲ強調スル所以ノモノハ、教育施設ノ完備ト村民ノ負担軽減トガ併行両全スル場合ニ於テノミ効果的デアリ、契約デアアルコト啞々ヲ要セズ。

年間に千五百円節約

然ルニ施設ノ完備ノミヲ叫ンデ経費ノ荷重ヲ稽ヘザレバ現在ノ四ヶ校モナホ不足ナリト云ヒ得ルト共ニ、負担ノ軽減ノミヲ唱ヒテ教育ノ本質ヤ児童通学ノ困難ヲ度外視センカ、四ヶ校ヲ二ヶ校ニ統一セントスルノ論モ

亦生ズル。

故ニ本村ノ実情ヲ縦横ニ照察スルト交通四通ニ発達シ、冬季ハ通学ノ危険少キ中仙田校及ビ赤岩校ヲ何レモ廃止シテ、ソノ通学区域内ニ於テ最も公正妥当ニ、眞ニ小学校々地トシテ理想的ナル地点有リトセバ、其処ニ新タニ一ツノ尋常高等小学校ヲ建設センカ、小学校教育ノ最高ノ目標タル単式編成ノ目的完備スルハ、論ヲ俟タザル所ニシテ、之ニ依ツテ得ル経費ノ節約実ニ年々金一千五百円ヲ下ナリ。

高等科卒業が人並み

大正七年ニ白倉校ノ高等科併置ヲ最後トシテ、村内四ヶ校中中仙田校ヲ除ク三ヶ校ハ何レモ高等科併置ヲ見、大正十一年ニ至リ中仙田校一校ニ之ヲ統一シ又之ヲ十五年ノ昔ニ遡リテ各校ニ高等科ヲ復活併置セントスルハ抑々如何ナル理由ナルカ。

仮ニ暫ク過去ハ問ハヌトスルモ、少クトモ現在ニ於テハ旁ニ農村ニ於ケル教育思想ノ普及発達ノ結果トシテ云フガ如キ、単ナル抽象的理由ニ起因スルニ非ズシテ、其ノ重ナル理由トシテハ近年各方面ノ青少年ニ対スル求人条件ガ殆ド高等小学校卒業ヲ標準トシテキル社会ノ実相ガ本村ノ如ク冬季積雪深ク出稼ノ

数年々五百ヲ算スル地方トシテ漸ク之ヲ重視スルニ至リ、遂ニ現在ノ高等科併置校ニテハ通学距離遠ク且ツ交通不便ノ為、此ノ希望ヲ充ス能ハザルニ因由スル処大ナルモノト認メラレル。

仙田と白倉に高等科

山又山、溪又溪併モ半歳ヲ雪ノ中ニ埋レル南北五里、山間僻陋眞ニ地ノ利ヲ得ザル本村トシテハ、比較的村ノ中位ニ位置シ交通文化ノ恵澤ニ浴セル中仙田校及赤岩校ヲ除クニ校ガ高等科ノ併置ヲ要望スルハ己ムニ己マレヌ要求デアリ、之ヲ徒ニ阻止スルハ一村教育ノ機会均等ヲ蹂躪シ、多面村民負担ノ衡平ヲ失スルモノニシテ、他ニ特別ノ理由存セザル限りハ之ヲ認ムルハ極メテ公平ナル見解デアル。

この日の村会には中條文平、押木次郎、南雲保治、高橋駒治、高橋政治、高橋俊治、佐藤直隆、登坂九十二、高野政考、中條正福、中條政治、山中勝平、川崎勝平、小林忠蔵、斎木繁治、江口増之、小川勝平、増田哲男の全議員が出席したが、「ことは余りにも重大である」とし、そのまま休会してガリ版刷りの松永提案を地元を持ち帰る。

松永提案に村内騒然

翌二十二日の午前は集落ごとに常会を開いて意向をまとめ、午後二時から役場で開かれた村会協議会で賛否を協議する。

この日、赤岩校と中仙田校を廃止することに絶対反対の中仙田川東集落と岩瀬・大倉に田戸越ヶ沢も加わった村民二百余人は、宮城屋旅館の前あたりから役場附近に集まり、村会の成り行きによつては流血の事態がおきること予想された。村会協議会は松永提案に賛成する中仙田川西・赤谷・白倉・仙田校区と、これに反対する議員の間で午後七時過ぎまで激論が交わされたが決定に至らなかった。

翌二十三日は午前中、村会議員のほかに、童子ヶ島の統合案に反対する住民の代表として中仙田の小林誠治、岩瀬の登坂謙三を加えて審議するが、二人とも現状維持を力説して解決点が見出せないまま物分かれに終わる。午後は議員だけで八時まで協議したが小田原評定になり、成り行きを見つめる反対派の住民百六十人が役場の一帯を囲んで氣勢をあげ、夕暮れの中で中仙田川東や赤谷・仙田・白倉の議員に投石する騒ぎもあって陰悪な様相がみえ、この日も村中がゆれた一日となった。



赤岩校の運動会(昭和17年夏)
中条秀雄さん(岩瀬)提供

町体育協会が 功労者らを表彰



21人が表彰を受けました

十月三十日、総合センターで、第十四回体育功労者等表彰式がありました。受賞された方々は、次のとおりです。(敬称略)

◎体育功労者
榎間 公男(53伊友・バレーボール協会発展に尽力)
市川 松男(57中屋敷・柔道協会発展に尽力)

◎優秀競技者大賞
卓球 村越 繁正(43野 口)

◎優秀競技者
卓球 渡辺一治郎(54高原田)
空手道 山崎 哲嗣(27十日町市)
トボック 丸山ユカリ(24原 田)

◎奨励者
〈野球〉南雲武幸(18朝日町)
丸山英紀(18根深) 星名弘文(17中屋敷) 〈柔道〉藤田純(18根深) 〈空手道〉茂野淳一(18室島) 春日敏明(17神社町) 〈陸上〉清水孝(17山野田) 小林優(13中山田) 丸山健士(12木落) 〈水泳〉山本章人(15仁田) 〈卓球〉池竹千津子(14原田) 池竹祐子(12原田) 〈相撲〉金子実寛(10岩瀬)

◎感謝状贈呈
長崎 一男(45妙高高原町在住)
長谷川 徹(39新潟市在住)

町民マラソン大会 大会結果(10・3)

第17回

- ◎丸山沙由美(千手小)
◎丸山 慶子(橘 小)
一般男子
①北村 準一(東善寺)
一般女子
①高橋 弥生(上 野)

【Bコース】(2.5km)
小学生4～6年男子

- ①丸山 健士(橘 小)
②松崎 正(千手小)
③高橋 和也(千手小)
④田中 邦宜(千手小)
⑤大久保 峻(橘 小)
⑥丸山 喜之(橘 小)

同女子

- ①桐生かおり(上野小)
②水品 早絵(上野小)
③村山 祐子(上野小)
④高橋あすか(千手小)
⑤押木美穂子(上野小)
⑥小川 千春(上野小)

一般男子

- ①渡貫 克典(新町新田)
②井ノ川茂徳(上 野)

【Cコース】(4.0km)

中学生女子

- ①小林 優
②南雲 裕子

- ③小林 由子
④柳 香織
⑤星名 恵
⑥渡辺麻紀子

【Dコース】(6.8km)
中学生男子

- ①小林 勇二
②長谷川正和
③佐藤 亮
④片桐 康太
⑤井上 吉典
⑥柄沢 孝洋

一般男子

- ①北村 良二(中央町)

【Aコース】(1.5km)
小学生1～3年男子

- ①大久保 樹(橘 小)
②高橋 保弘(千手小)
③高橋 亮(千手小)
④丸山 大悟(橘 小)
⑤山口 政志(橘 小)
⑥丸山 祐樹(橘 小)

同女子

- ①平野菜菜子(千手小)
②押木 香織(上野小)
③樋口 未央(仙田小)
④大海美和子(千手小)

小学生から一般まで七百余人が参加しました



図書室 だより

赤ちゃん
幼児 絵本の紹介

絵本は、大人だけが見てそのよさがなかなか理解できないものがあります。なぜなら大人の感覚は、すでに枯れはてている場合があるからです。

子供と一緒に見て、子供の喜びのこぼれや、怖がりたり、驚いたりするみずみずしい姿を見て、はじめてその価値がうなずけることがよくあるからです。次に掲げる絵本を通して、大人と子供の交渉の場を生みだし確かめてみてください。
※豊かな表情と楽しいことばで

つづる赤ちゃんとお母さんの絵本シリーズです。

- おつむでんてん
- おきやくさんだーれ
- おくちはどーこ
- ねこちゃんにやんにやん
- わんちゃんわんわん
- ひよこちゃんびよびよ

他に六冊シリーズ

※幼児とお母さんの絵本文字はありません。でも、十分ストーリーが理解できる、マ

ーサ・メイヤーの傑作です。

- こんには かえるくん
- かえるくん どこにいるの？
- しょうねんと いぬと かえ
- ると ともだち

○レストランの かえるくん

○かえるくんのぼうけん

○めいわく おくりもの

ほるぷ出版

高齢者の死亡事故が大変目立っています。特に自転車は要注意



かわにし 俳壇 太田白南風選

秋の佐渡めぐる旧跡もの淋し

原田 太平 きみ
草むらに虫の音細き時雨空

大根を蒔くには足らぬ朝の雨

元町 金子 鉄平
大般若読経流る、萩の庭

仁田 戸田 貞
テーブルの大皿小皿秋灯下

上野 星名 春子
冠雪の山道遠く草紅葉

高倉 斎木 和人
洗い上ぐ間引菜葉にまがりおり

岩瀬 登坂伊智子
コスモスに囲まれている無人駅

志木市 山田十久二
朝寒や茶の花白くこぼれをり

野口 野沢 静江
豆腐屋の湯気噴き出せり霜の朝

寺尾 白井すみい
雲の辺に続く彩どり山紅葉

上野 内山 寛平

さやはじけルビーの如き小豆かな

野口 村越 幸
山茶花の固きつばみの先赤し

上野 入沢 はや
水仙を小庭に植えて春を待つ

厚木市 川崎 保一
稲葉山子セーラー服で弓を引く

新町 若山 向山
遠来の友の笑顔や秋桜

浦和市 登坂 博史
柿熟れて鴉の来て居り夕陽射す

八王子市 松浦 サク
芒の穂白極まりて散りにけり

伊勢原市 金子 桂吉
秋雨に開店を待つ傘の列

上野 渡辺 朝
句碑建ちてそこら明るき竹の春

霜条 大海 白海
山の出湯窓越しに見ゆ稲架襖

仁田 小幡しん女
柿の実の色づきし庭布団干す

綾瀬市 野沢ますえ
コスモスに園児の唄の届けけり

野口 野沢 寅生
銀杏を三つ四つ拾い退院す

野口 村越 由喜
白根山へ登る道々ななかまじ

小白倉 江口みゆき

谷川に紅葉浮かせて水澄めり

木落 丸山 詩朗
刈り上げや栗赤飯でさきやかに

野口 五十嵐トラ
熊野社の大杉並び神無月

練馬区 須藤 遊人
大根の日増しに太る秋の雨

千手 長野 キミ
半生を難病暮らし木の葉髪

足立区 駒形 頼太
山里の落日早し蕎麦を刈る

足立区 涌井ハル子
秋風にビールの味のながみ増す

足柄上郡 金子 君江
山門を出れば一面刈田原

山野田 藤田ひろ志
菊開花やさしく台輪つけにけり

小白倉 田中 優美
秋風にさそわれ揺る、芒の穂

元町 上村 トミ
時雨きてもみぢ散らすや惜しかりき

中仙田 高野仙蒼子
草の実を付けし野良着を干しにけり

長岡市 江口由希子
納屋障子切り貼りにして貼り終わる

赤谷 登坂 酔月

セーフティ・オートム・にいがた

交通死亡事故抑止作戦

県内の交通事故による死傷者は、九月末現在で去年より二十八人増え、増加数では全国ワースト第二位という憂慮すべき事態となっています。年末を迎え、交通死亡事故の多発が懸念され

ることから、県・県警では、10月1日から12月31日までの三か月間、「セーフティ・オートム・にいがた」の一戦を戦うこととされています。最大の努力をしています。十日町警察署管内でも、過去

十年間で最高の死者を出した平成元年(12人)に、今年の十月末現在で十一人と迫っており、最悪の事態も予想されます。このような状況をよく認識し、一人ひとりが交通ルールを守り、ドライバースも歩行者もお互いに思いやりをもった行動で、交通安全に努めましょう。

カメラ散歩



フレッシュバレー ボール大会
(10.21~22)

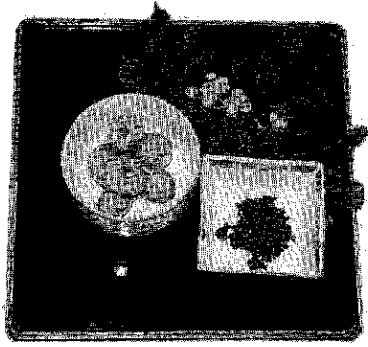


昭和40年に川西中学校を卒業され、現在、日本フルート協会会員・ヤマハPMS講師の高橋光善さん(高原田・43歳)が、母校の文化祭行事の中でミニコンサートを開きました(10・24)



今年5回目を迎えた郷土芸能発表会(10.31)

手軽にできるふんわり味の③



ジャガイモの煮ころがし しその実の油みそ

1. ジャガイモの煮ころがし

■材料

・小芋(ジャガイモ)

■調味料

・しょうゆ、砂糖、酒

■調理方法

- ① ジャガイモを串のささるまでゆで、ザルにあげる。
- ② ジャガイモが冷たくなったら油で炒め、しょう油、砂糖、酒を入れて煮る。煮立ったとき煮汁がジャガイモにかぶるようにし、煮汁が少なくなってきたら、からめるように鍋がえしをする。(時間があればゆでないで、②から作るとおいしい。)

2. しその実の油みそ

■材料

・しその実 300g

■調味料

・油 大さじ3
・酒 大さじ4
・砂糖 大さじ5
・みそ 大さじ4

■調理方法

- ① しその実を30分ほど水に入れ、あく出しをする。
- ② 水切りをして、油で炒め、調味料を入れる。

「お元気ですか」

母子保健推進委員です」

私たち推進委員は、次代を担う子供たちが健やかに育つようにと、温かいまなざしで見つめています。

現在二十一人が、町の委嘱を受け、妊婦さんや赤ちゃん、子供さんの健康審査の案内を持って家庭に伺ったり、健診のときに受け付けや計測の記録したりすることなどを主な活動としています。

子でできる手遊びや体を使った遊びに、子供たちがとても喜んでる様子を見ると、ふれあいの大切さを感じます。

また、お母さん方の学習の場、仲間づくりの場になっている「子育てセミナー」への参加をお勧めしています。特に、家族形態の変化で、子育ての悩みを抱え込んでしまう傾向にあるようですので、このような親子遊びや子育てのサークルのようなものが、もっと回数多く持たれると良いと思います。

このほか、子供の虫歯予防も重要と考え、健康案内を持って訪問するときに、「乳歯は大切な歯ですよ」とひと声かけたり、町の健康づくりフェアなどで虫歯予防のコーナーを担当したりして、「一生自分の歯で」とPRしています。

健診案内を持って伺ったときには、お子さんのことで心配なことや町への要望など、気づいたことをお聞かせください。これからも子供たちの健やかな成長を願い、地域と行政のパイプ役として活動していきたいと思っています。



この日は4カ月児健診でした(11.1)

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

春日亜里沙 朝子 長女 仁田

小幡 千明 秀次郎 長女 仁田

広田 鉄馬 真澄 長男 新町新田

斎喜 智也 正江 長男 室島

丸山 俊貴 恵子 二男 高原田

南雲 佳奈 美子 長女 中仙田

馬場 理江 美信 長女 朝日町

村山 誠英 敏子 二男 高原田

鍋もの

風が冷たくなってくる晩秋は、鍋ものが恋しい季節です。

鍋を囲んでのどんらんは、寒い時期にふさわしいですし、材料にする魚や野菜などがおいしく、寄せ鍋、水たきなどは一般的。あんこう鍋、かき鍋、たらちり、しよつづるなど、実にい

高橋 奈成 秀男 二女 発電所通東

たかさご—ご円満に

小柳 稔 元町

田村 安由美 十日町市から

滋野 寿男 野口

阿部 民子 長岡市から

佐藤 勤一 高原田

村山 和枝 十日町市から

山賀 俊司 松代町から

片桐 慎子 仁田

昇天—ごめい福を祈る

上村 治郎 71(本人) 上野

中村 タマ 79(武男) 坪山

田口 シマ 84(實) 木落

高橋 カツ 87(賢治) 田戸

滋野 クミ 89(二郎) 野口

(10月1日—31日届け出分)

ろいろな鍋ものがあります。

鍋ものは家庭料理として、また宴会料理や料亭料理として、広く親しまれています。すき焼きは日本料理の代表として、国際的にも有名です。鍋ものがこんなにあるのは、日本の食文化の特徴といえます。

鍋ものはバランスのよい健康食でもあり、また、家族や友人とのコミュニケーションを深めるのに、絶好の料理といえます。

ちいさな展覧会

64

仙田小学校



5年 小林美奈子 さん



1年 高橋大地 君



6年 高橋智章 君



3年 高橋大輔 君



4年 高橋杏里 さん



4年 小林真理子 さん



2年 樋口恵美 さん

(12月号は白倉小学校です)